

第12号
平成28年10月発行
2016.Oct.



剣脈



▲第46回 福岡県武道祭 剣道特別立ち合い 教士八段の部

公益社団法人

福岡県剣道連盟

〒810-0052 福岡市中央区大濠1丁目1番1号 福岡武道館内
TEL:092-712-1890/FAX:092-712-1891

全日本東西対抗の福岡大会を盛り上げよう

福岡県剣道連盟会長 上田 憲幸



日本剣道界の三大大会の一つといわれる「全日本東西対抗剣道大会」が、来年九月一日(日)、福岡市民体育館で開催される(因みに他の二大会は、全日本剣道選手権大会と全日本都道府県対抗剣道優勝大会)。今回の福岡での大会は、第六三回大会であり、前回の平成四年の第三八回大会以来二五年振り、福岡では通算五回目の開催となる。

この大会は、全国を東西に二分し、男子は全国の六段から八段の剣士の中でも過去に全日本選手権や世界大会等を経験し、素晴らしい成績を残した選手など各三五名(双方計七〇名)、また女子は各年代より選ばれた実績豊富な選手各五名(双方計一〇名)により行われる対戦であり、現在の日本の剣道界において最も格調の高い最高峰の大会と位置づけら

れている。なおこの大会は、昭和二九年宮崎市で開催された第一回以来、日本各地に正しい剣道を伝承し、その広報を図るために毎年開催地を全国に回しながら開催されている。試合形式は当初は抜き勝負を採用していたが、第二四回大会(昭和五三年熊本大会)では西軍が二〇人を残して一方的に勝利するなど、試合をしない多くの選手を輩出したため、以降は全て一対一の対試合方式を採用している。従って対抗戦としてのアツピール力にはやや欠けるものの、ひと試合ひと試合が若年層から壮年層までの心技体共に円熟した選手同士の戦いであり、毎年後年まで伝えられる好試合が随所に展開されている。

大会の主管となる当福岡連では、早速昨年度には実行委員会を立ち上げ(委員長 牧瀬専務理事)、鋭意準備中であるが、二〇二〇年に一回のしかも財政的負担が大きいイベントであり、是非この大会を剣道愛好者の身内だけに留まらず、広く一般社会に対して伝統文化である剣道の迫力と凛々しさを知ってもらおう絶好の機会にしたいと願っている。

大会当日、会場の福岡市民体育館が五千名の観戦者で超満員となり、大会が最高に盛り上がることを期待している。皆さんのご理解とご協力を、宜しくお願いします。

第六三回全日本東西対抗剣道大会(平成二九年度)の福岡開催に向けた諸準備について

福岡県剣道連盟専務理事

牧瀬 憲保



サブタイトルは、平成二八年度の重点項目のひとつとして挙げているが、いよいよ開催日まで一年足らずとなり、目下鋭意準備中である。

第六十二回福岡大会(九月一八日)の視察も終え、実行委員長(筆者)以下、各委員も士気が高まり、大会成功に向けて意志の統一を確認した。

本大会は、県剣連会長の巻頭語のとおり、全剣連が主催する三大会のひとつとして位置づけられており、主管する開催県として失敗は許されない一大イベントである。そこで、実行委員会としては大会に向け

基本的事項として、

- 一. 伝統ある大会の成功(三回目的主管大会である)
二. 遠来の選手、役員等へのおもてなし
三. 円滑な大会運営と各組織のチームワーク
四. 大会の盛り上げ(広報活動等)を基本方針とし、その対策として、

- 実行委員会事務局
○総務企画部
○競技式典部
○宿泊輸送部
の四部門の組織を実行委員会として設置し、各組織ごとに「大会運営必携」を作成し、具体的業務をお願いする事とした。
具体的な考え方として、

- 大会規模においては、大会役員(全剣連、来賓)・選手・監督をはじめ、観客も含めて会場をほぼ埋め尽くす大会とする。
○予算関係については、本県剣道連盟基本財産の一部繰り入れ(本年六月通常総会にて承認)と全剣連からの補助等を収入源とし、限度内で華美としない事を念頭に必要最小限度の支出で賄い、最高のおもてなしが出来るよう配慮する。

以上、基本的な考え方を述べた。現在までの進捗状況であるが、大会日時は平成二九年九月二〇日(日)、会場は福岡市民体育館(運営リハール等を含む八・九・一〇、三日間を借用)に決定している。役員・審判

目次

Table with 2 columns: Item Name and Page Number. Items include: 会長挨拶 (1), 脈動 (2), 派遣事業報告 (3), 少年剣士の声 (4), 昇段・昇格・受賞 (5), 連合地区剣道連盟通信 (8), 杖道通信 (10), 居合道通信 (11), 未知志留辺 (12), 知っておきたい基礎知識 (13), 全日本東西対抗剣道大会 (15)

○大会を盛り上げるため、認知度向上対策として、県・市の自治体をはじめ教育委員会、スポーツ協会、県内各企業、マスコミ関係(各新聞社・テレビ局)等関係機関に後援をお願いする。

○競技式典においては、競技運営に慣れている高体連・中体連を主体にし、しっかりした事前準備による円滑な大会運営をお願いする。

○輸送宿泊関係については、来会調査の結果を受け、福岡空港・博多駅に案内所を設置し、安全に目的地まで搬送出来るようにする。宿泊所についてもJTBを窓口とし安心して大会に臨めるに相応しいホテルをお願いした。

○医療救護体制も、医師・看護師を、大会前日より常時待機していただけるようにする。

以上、基本的な考え方を述べた。現在までの進捗状況であるが、大会日時は平成二九年九月二〇日(日)、会場は福岡市民体育館(運営リハール等を含む八・九・一〇、三日間を借用)に決定している。役員・審判

員・東西両軍の監督・選手の宿泊ホテルはJTBの提案及び実踏の結果により、三つのホテルを市内にすでに確保済みである。会場設営業者については、信頼性・実績・納期等を考慮し、一社を選定した。また、ポスター図案・プログラム表紙・ホームページ掲載等広報部門を担当していただくため、九州実業団剣道連盟への協力を要請した。

今後の作業として、各組織の人員を選定すると共に、事務局体制強化のために専従出来る臨時職員(一名)の雇用を検討している。また、大会運営関係については、プログラム・ポスター図案の作成・大会イベントアトラクションの実施の検討、来賓の人数、記念品の選定等々重要かつ細々な事項を決定していかなくてはならない。二八年度内には大筋を決定し、二九年度初めからは、いよいよ本番に向けて起動する所存である。

どうか会員の皆様におかれましては、本県が一つに団結し、大会成功に向けてのご協力を、切にお願いしたいと思っております。同時に、開催に際し、良い意見等がございましたら、お寄せいただけたら幸いです。

第五回中堅剣士講習会を受講して

福岡市東区剣道連盟 本多 忠臣



私は、六月八日から二二日までの五日間、奈良市中央武道場で行われた、第五回中堅剣士講習会に参加させていただきました。各都道府県から、七段六〇名、六段一名の計六十一名の参加でした。警察官、刑務官、教員、消防士、大学職員、会社員、自営と様々な職種で、年齢も三六歳から五〇歳といった剣士たちと寝食を共にしての講習でした。

開講式で、全日本剣道連盟副会長兼専務理事の福本修二先生から、「この講習会は強化訓練です。」というお話を聞いた瞬間、私の中で気が引き締まると同時に、やる気と気合が一層高まりました。その後、全日本剣道連盟副会長の松永政美先生から、奈良や柳生の歴史についての講話をいただきました。松永先生は、

現役時代にこの講習会に参加した当時のことを振り返り、「本当の意味で厳しい修行であった。」と話されていました。また講話の中で、「剣道は教育である。」という話をされ、私は剣道の素晴らしさを改めて実感致しました。

最後に、五日間の剣道漬けの講習会に参加させていただき、本当に貴重で有意義な経験をさせていただきましたと感じています。今後は、まだまだ未熟で微力ではありますが、今回の経験を生かして、福岡県剣道連盟のために、少しでも貢献できるように努力・精進して参りたいと思います。今回指導していただいた全日本剣道連盟の先生方、地方講師の先生方、講習会に派遣していただいた福岡県剣道連盟の各先生方に感謝申し上げます。中堅剣士講習会の結びと致します。

指導法では、熊本の亀井徹範士の指導で、姿勢、構え、素振りから身体への運用といった様々なことを指導していただきました。特に剣先の冴えを意識して顎の下まで切り落とすこと、一本一本の素振りを有効打突にすることが重要であると説明を受け、実際に見本と指導をいただきました。この話を聞いて、素振りをする時は、一本一本魂を込めて素振りをするようになりました。



▲第5回中堅剣士講習会

世界一の剣豪をめざして 小郡天真会五年 福山 光
私は、アニメに出てくる世界一の剣豪にあこがれて、剣道を始めたいと思いました。

ちょうど一年前、両親に連れられて体育館に見学に行きました。体育館の中から「ヤー」という声が外まで聞こえていて、強そうだなと思いました。「バーン」という竹刀の音や、気合いが入った練習を見て「やってみたい、強くなりたい」という気持ちが強くなりました。

その後は、各先生方から指導していただいたことを頭に入れて、切り返し、基本稽古、打ち込み稽古、指導稽古と様々な稽古を行いました。その中でも、元立ちの重要性を強く感じました。「常に元立ちは、気合で掛かり手を引き出す稽古を心掛けないといけない。」と教えていただき、先生方の指導の下、気合で縁を切らないように間合いに気を配り、稽古に励みました。その中で私は、相手を引き出す難しさや、元立ち次第で掛かり手が活きることを認識しました。

的に指導してもらいました。僕はその頃、早く面をつけたらいいな、徹底的に基本をやることには、あまり大切だとは思っていませんでした。入部して迎えた二度目の夏に、試合に出場しました。結果は完敗でした。でも、先生にしっかりと基本を教えてもらい、真面目に練習することで、段々と試合に勝てるようになってきました。その時、先生に「竹刀をまっすぐ振ることで、勝つことができるようになった。」と言われたことを覚えています。



二つ目は、くつをそろえたり、防具を自分で整えたりすることで、身のまわりのことが前よりもできるようになりました。

しかし、学年が上がると、基本の剣道では、実戦の剣道には勝てないと感じるようになりました。中学校に入学して、剣道部に入部しました。中学校の部活の剣道の指導は、地戦の剣道でした。最初は、同級生と目撃しても、全く歯が立ちませんでした。しかし、実戦の練習をしていくうちに、先輩にも勝てるようになってきました。部活の先生に、「面を

基本重視

大敷少年少女剣道教室 中島 啓太郎
「僕、剣道に行くから帰るね。」という友達の言葉が、僕と剣道の出会いです。小学校一年生の時に、一緒に遊んでいた二年生の友達が剣道をしていて、「剣道ってどんなの？」という好奇心で大敷少年少女剣道教室に行ったら、面を被った友達は、とてもかっこよく、自分もやってみようかと思いい、入部しました。

大敷少年少女剣道教室は、実戦向きの剣道ではなく、基本を重視する剣道です。入部して最初の一年くらいは、すり足や素振りの練習を徹底



まっすぐにきれいに振ることができている。」と言われました。

僕は、鋭い技を打ち出せるようになったのは、小学校の時に大敷少年少女剣道教室の先生に教えてもらった基本があるからだと思いました。基本重視の剣道を生かして、練習をがんばり、中学校三年で団体戦の先鋒に選ばれた時は、とても嬉しかったです。

剣道は、礼節を重んじ相手を敬うことで、自分自身の心や態度を止すことができます。僕は、大敷少年少女剣道教室で学んだすべての基本を大切に、礼儀正しく、きれいな剣道を身に付けることができます。日々稽古に励んでいます。



昇段審査を振り返って

九州電力剣道部 井手 勝彦



本年五月二日、京都に於ける八段昇段審査会におきまして、幸運にも合格させていただきました。このことは偏に、多くの先生方、先輩、剣友や後輩のご指導、そして職場の上司、同僚等皆さまのご支援の賜物だと深く感謝いたしております。六月の八段研修会やたくさんの方々の祝意により、事の重大さを再認識させられその重責に身が引き締まる思いです。

最初の受審は平成二三年五月で、今回が十回目の受審でした。受審当初は、とても自分が及ぶ審査ではないと思いつつも、八段審査とはどういふものなのか、という雰囲気なのか経験しておきたいという気持ちで受審しておりましたが、回を重ねる毎に何とか合格したいという思

いが強まりました。手が届かないかもしれないが、とにかく受審し続けようと思ひ、自分なりに稽古に取り組んで参りました。

日頃の稽古においては、限られた時間、回数稽古ですので、一本一本を大切に、また縁を切らないことに留意し、毎回の稽古で余力を残すことなく、全力を出し切るよう心がけました。また、審査に向けては県剣連主催の受審者講習会を受講し、その中で多方面に亘りご指導いただきました。このような機会や日頃の稽古で先生方からご指導、アドバイスいただいたことを自らの課題として取り組みました。その課題が多く、一つのことに取り組めば一つが疎かになるというような状況で完全にはクリアできていませんが、それを頭に置くことで稽古に張りが出て、わずかずつながら前進したのかもと思っております。

そういうったなかでの今回の受審でありましたが、前回までの審査では「今打つて出ようか、いやまた早いか」等いろいろ考えて結局出遅れて打たれてしまったので、今回は自分が打つ時と感じたら迷わず出ようというのを心に決めて臨みました。そのことにより、結果として「攻め

る」、「溜める」、「捨てる」という形の打突が出たのかもしれない。立合の内容はあまり記憶してないのですが、「精一杯やりました。この場に立たせていただいていたありがとうございます。」という感謝の気持ちでいっぱいでした。また、今回は二次審査前に、県の一次合格の三人の先生と基本稽古、打込稽古をさせていただいたのも、心身の硬さを和らげて良い結果に繋がったのではないと思

います。小学四年生から習い始めた剣道ですが、特別な才能、能力があるわけではない私ですので、行き詰まったり、迷ったりすることが多々ありましたが、その場面、場面でお導き、叱咤激励下さった先生方や先輩、周りの方々のおかげでここまで修練を続けてこられました。そのありがたさと、私には「継続こそが力なり」と改めて感じ入っております。

まだまだ未熟で修業半ばの身でありますので、この段位に恥じないよう、また段位にふさわしい剣道ができるよう精進し、微力ながら県剣道連盟に貢献できるよう努めて参る所存でございます。今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

剣道八段昇段審査合格者報告

福岡県警察本部教養課

彌永 政美



平成二八年五月一日、京都におきまして、無事、八段昇段審査に合格することができました。これもひとえに、日頃から懇切丁寧にご指導をいただいております諸先生方と、応援をいただいております皆様方のお陰であります。心から感謝申し上げます。

さて、私が八段昇段審査に挑戦し始めたのは、平成二三年五月一日からであります。今回で七年目、一回目の挑戦でありました。この間、同級生や後輩達が次々に合格していく姿を目の当たりにして、悔しさや自分自身に対する情けなさを感じながら、「自分は、本当に八段に合格で

昇格

居合道教士(五月三日)

古館 博

杖道錬士(五月三日)

手嶋一壽 井上喜文

剣道錬士(五月六日)

上田謙次 中藤昭信 牧瀬宗昭

江崎健史 亀山裕司 西野慎吾

宮本和之 迫田貴則 宮本真沙代

関浩一郎 陣内孝敏 吉良慎太郎

篠原栄一 菊池 肇 山田寿敏

宮崎 靖 中原敬典 田中賢一郎

戸田善雄 飯盛俊二 中川康一

加藤 聡 大崎 崇 請地達也

瀬戸憲治 松大路秀一

剣道教士(五月六日)

森 大樹 大門一樹 西尾清人

福田隆和 寺崎義久 妹尾健太郎

平野泰年 江口英彰 有馬耕太郎

今泉 昇 藤井賢治 渡辺正男

成清嘉彦 中原良隆 長崎武彦

山本徹男 林 弘信

昇段

剣道六段(四月二九日)

岡野芳宏 古賀敏光 柳瀬大輔

石松 守 植村正彦 芹野正通

剣道七段(四月三〇日)

米満雄一 井上隆久 家永雄一郎

高尾博文 福田勝巳

剣道七段(五月一四日)

小川邦昭

剣道六段(五月一五日)

塚本浩一 北原 勝 在津吾朗

木原 修

居合道七段(七月八日)

安河内政光

四段・五段合格者

剣道四段(二月二日)

鶴野光治 村岡孝明

剣道四段(二月七日)

野中陽文 上野弘嗣 香月力也

小川大晴 大石雄大 谷崎稜

松田侑祐 田村悠真 大岡竜也

山田晶稔 平野啓太 繁永芳喜

竹嶋亮介 荻島 光 橋本顕太郎

入船修輔 吉岡大智 梶原駿佑

内野武蔵 是本真央 梶原慎太郎

安田大起 川村一馬 坂口恵太

島居光希 橋本太志 中並良輔

江口祐樹 畑江寛木 宮崎共平

柏木健佑 野田雄大 中倉章祥

大津将矢 松田祐樹 須崎弘太

河村晃佑 大城 大 矢野康也

大曲治希 高橋伴弥 川路 毅

本村 太 山口純平 佛淵清一郎

古屋和長 浦上貴文 西岡洋幸

平澤伸浩 品川政美 永溪靖敏

下澤淳彦 庄野詠二 吉田 敦

きるのだろうか…。このまま一生無理なんじゃないだろうか…。と何度も悩み、正直、辛い日々もありました。そして今回、異動で勤務環境が変わったこと、両肩や足の怪我等で充分な稽古ができなかったこともあり、「こんなことじゃ今回もダメだな…。」と半ば諦めていました。しかし、最後には「今回はダメでも、次の審査に向けてしっかり準備しよう。」と開き直りの部分もあり、審査ということをあまり深く考えずに臨みました。これが良かったのかどうかはわかりませんが、合格できたことに、ホッとしております。

合格した時には、いろんな人達の顔が浮かびました。中でも特にハッキリと頭に浮かんだのが、平成一九年五月一日に他界された、私の剣道の恩師である、桜木俊治先生です。先生には小学一年生から剣道の手ほどきを受け、基本を徹底的に教わりました。

剣道の指導は、毎回逃げ出したくなる程厳しいものでしたが、「剣道の基礎」を作っていたいただいたのは、やはり桜木先生だと思っております。そして、今でも記憶にありますのが、「時間に余裕ができたなら、子供達の剣道指導をやりなさい。子供の指導は必ず自分自身のためになるから。」と

いう言葉です。当時は軽い気持ちで聞いていたのですが、現在、地元で剣道教室の指導に携わるようになり、子供達が真剣に稽古に励む姿を見えますと、先生が「子供達の指導をやりなさい。」と言われた意味が、少しずつではありますが、わかってくるような気がしております。

八段合格まで時間はかかりましたが、今回五月一日という日に合格できましたのも、桜木先生からの、「もう少しやらないか！子供達も見とるぞ！気合い入れてやらんか！」という声と、剣道教室で指導をしている子供達の、「先生、頑張れ！」という激励の声が、私の背中を押してくれたのでは…。という思いがしてなりません。これも何か不思議な縁を感じますとともに、心から感謝しております。

おわりに、今回八段に合格することができましたが、まだまだ修行の身であります。今後更に精進をし、微力ではありますが、福岡県剣道連盟及び所属しております宗像剣道連盟、更には少年剣道の発展のために尽力したいと思っております。

皆様方には、更なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。八段昇段のご報告とさせていただきます。

磯田秀人 土田啓三 大久保敦
 川路紫乃 竹田彩乃 草場優里花
 石松諒子 岡林綺華 上野雅奈美
 夏目理央 西山ゆみ 江頭希美
 篠原真弓

剣道四段(三月八日)
 田村柁貴 平尾政樹 山形祐介
 世利匡崇 稲田啓壽 中村梨沙
 辰合道四段(三月二十七日)
 藤本健一 築城康之 花田 實
 神谷利郎 谷詔太郎 堀公美佳
 杖道四段(六月二二日)
 矢幡健治 植原栄一 蒲生精一

剣道五段(二月二日)
 東内雅輝 西浦卓臣 坂田竜人
 角田 淳 江口寛悟 服部周太郎
 村田瑞季

剣道五段(二月七日)
 中山敦貴 今山裕彬 白水清正
 庄島大智 岸川 忍 長門石健太
 宗 和希 小川勝士 大久保琢磨
 寶崎恭平 江崎彰太 米田恭史郎
 伊野一樹 中嶋景政 竹井雄士
 井口 健 内野隆治 江口孝吉
 井手俊輔 太田裕之 松嶋幸一
 亀山敬史 安武義修 水町浩和
 齋藤 晋 渡辺靖志 白水太一
 稲富 健 青木道裕 武嶋 仁
 堀隆一郎 世良勝彦 小金丸卓哉
 林 淳二 溝田正忠 熊本 充
 釘宮慎一 浜本章雄 澤岡弘一

市丸英明 村井明寛 末吉泰宏
 清原英雄 安部宗顯 倉内茂樹
 赤司 一郎 相川一英 堤 健志
 北島敏光 小峠英人 長谷部武志
 幸田幸洋 藤井 哲 井上敬一郎
 有持正信 福田治雄 耳田雅信
 友原久平 藤田 寛 水橋孝行
 水城紘一 元木朱実 坂本千絵子
 波多江みのり

剣道五段(三月八日)
 井上直毅 松下充博 原口正成
 加藤直樹
 居合道五段(三月二十七日)
 庄村育功
 杖道五段(六月二二日)
 宮崎清治 友松洋一

受賞報告

六月六日に日本武道館で開催された、全国老人福祉助成会主催・全日本剣道連盟等後援、第三八回全国高齢者武道大会(剣道)にて、筑紫剣道連盟の宮崎克己先生が、寿A(八十五歳以上)で優勝され、寿Aと寿B(八〇~八四歳)の優勝者による決定戦でも勝利され、二年連続三回目の内閣総理大臣賞を受賞されました。先生の受賞を、会員各位へご報告申し上げますと共に、心よりお喜び申し上げます。(編集委員)

元気で剣道を楽しみたい

筑紫剣道連盟 宮崎 克己



私は、今年八七歳になる。この年まで剣道を続けて来たのは、剣道が好きで、すばらしい剣道仲間との情のおかげだと感謝している。全国高齢者武道大会剣道の部の初参加は、平成一九年六月の第二九回で、七七歳であった。当時、筑紫高齢者剣友会会長であった加藤直行先生のお勧めと、「二度日本武道館で剣道をしてみたい。」との思いからだった。大会の概要もよくわからずに参加したので、開会式に出て感動もし、また北は北海道から南は沖縄までこんなに多くの先生方が武道館に集まることに、驚きと感動を覚えた。また、九〇歳以上の先生が幾人も出場されていたが、試合を拝見して「俺はまだ若いのだ。頑張らなくては。」と心に誓った。その時は、七五、七九歳の特組という区分に出場し、三位に入賞したが、他県の先生方と剣道を合わせる事ができ、とても勉強

になった。大会に出場して知ったことは、福岡の先生方が大会で活躍されていることである。第三七回大会では、七〇~七四歳A組で結城正之先生が優勝され、七五~七九歳特組で足立高見先生が三位に入賞された。第二八回大会では、特組で足立高見先生が優勝され、A組では結城正之先生が三位に入賞された。昨年の第二七回大会では、五五~六四歳C組で、大野城市の岩男泰明先生が見事な面でも優勝された。この大会に出場することはとても勉強になるとの思いから、大野北剣道スポーツ少年団指導部の先生や、大野城市剣道連盟の先生方にも声をかけて、現在では毎年七、八名で参加を楽しんでいる。団体戦にも出場して、三位を二回獲得した。

私は、初出場の第一九回大会から今年の三八回大会まで九回出場し、他県の先生方とも顔なじみになり、「お互いに来年も元気でおいしましよ。」と挨拶を交わすようになり、元気に再会することが楽しみにもなりました。はからずも昨年と今年総理大臣杯を頂いたが、健康に留意し、仲間との親睦と融和を図り、剣道を愛し、いつまでも元気で剣道を楽しんで行きたい。

設立六〇周年を迎えて

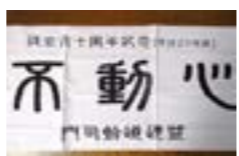
門司剣道連盟 会長 五十川利己



門司剣道連盟は昭和二八年(一九五三年)に門司剣道協会として発足、二年後に門司剣道連盟と改称して、六〇年を迎えた昨年度(二〇二五年度)、戦後の門司の剣道の足跡を『門司剣道連盟六十年記念誌』として後世に残そうと編纂作成し左のような記念誌を発刊しました。



六〇周年記念誌を作成して、門司と、門司剣道連盟のあゆみがよく分かります。戦後の創生期、剣道が盛んな隆盛期、そして現在です。創生期には、当時の剣道人は、食うや食わずの時代で剣道具や道場もない、そのような環境の中でもそれぞれの家に眠っていた剣道具を掘り



起こし、懸命に稽古を続けてきたことが窺い知れます。それは日本の主権が回復した翌年昭和二十八年には門司剣道協会を設立したことから推測できます。少年剣道は、神社の境内で稽古が始まりました。続けて、水上警察署や門司税関で故羽田野先生、門司小学校講堂では故小原三平先生、そして西の大里地区では心武館で故中丸先生が指導を始めました。各々の地道な活動を協会という形で組織したのが「門司剣道協会」です。この組織はその二年後に門司剣道連盟となり、福剣連門司支部などと呼称を変えながらも着実に活動を繰り広げていきました。

隆盛期には、故小原新平会長のお力で門司青少年体育館が建設され、門司剣道の中心道場となり、少年剣道は約二〇〇人を、一般の剣道人も約八〇名を超えるほどになりました。夏は門司市区内大会、下関との源平剣道大会、春・秋の少年剣道優勝大会、暑中、寒中稽古など数多くの活動を行い、本連盟は北九州連合地区剣道連盟の中でも一段と華やかに輝いていたようです。現在はその活動はかなり縮小して

きています。剣道部のある職場が減ったことや少子化による少年剣道の人口減少が原因のようです。門剣連の会員は現在、正会員数が三二名と県下の連盟中下から大体三番目に少ない連盟になっています。記念誌には先輩方の剣道の業績や名前と顔、様々な行事の写真を収集し、なんとか六〇周年記念誌らしく作成しようと計画しました。しかし、始めてみますと、写真収集に困難を来し、歴代の役職・任期などが判明せずに行き詰まりました。先輩方の顔写真が各ご家庭にも存せず、どうしたのかと悩みました。

ただ嬉しいことに、ご遺族さまから「剣道が大好きな主人でしたから、この度の冊子のお仲間に加えていただけるとは大変嬉しいことです」「大変なお仕事でしょうが、どうぞ立派な冊子ができますようにお祈りいたします」などの励ましのお手紙を頂戴し、また、神民也連合地区会長・江副春之門司区長・角正武範士八段から原稿を頂戴でき、写真なども少しずつ収集できて半年掛って発刊できました。



発刊記念祝賀会を平成二八年二月



二八日に門司港ホテルで開催しました。神民也会長や矢野直行理事長を始め、地元市の議会議員や保護者の方々も参列していただき、盛会裏に執り行うことができました。また、六八回になる区内大会を「六〇周年記念」と冠を付け六〇周年記念紅白試合も行い七月に開催しました。結びになりますが、門司剣道連盟が六〇年を迎えたことを契機に歴史を振り返ってきた結果、先輩方のたくまざるご努力と会員の協力で素晴らしいハーモニーを奏でた連盟だったことを再認識できました。これから先は現会員が一致団結し、また、他連盟の皆様のご助力を得ながら、門司剣道連盟の益々の発展のために邁進していかねければならないと決意も新たにしているところです。参考※宗像剣道連盟五〇年史 甲宗八幡宮縁起(文責:加美)

三潯地域剣道連盟の活動について

三潯地域剣道連盟理事長 小川 正
三潯地域剣道連盟は、現在実質一郡一町で構成されています。以前は、三潯郡剣道連盟と称し、大木町・三潯町・城島町の三町で構成されていましたが、三潯町と城島町が、二〇〇五年に久留米市に編入合併され、現在は、正会員二十名で活動しています。

当連盟の稽古会は、毎週火・土曜日の午後七時半から九時、木曜日の午後八時から一〇時の週三回で、久留米市立城島中学校の武道場をお借りし、小学生から一般の幅広い年代の剣士で、地稽古や剣道形の稽古に励んでいます。稽古会を始めた八年前は少人数での稽古でしたが、最近では遠方からも稽古会に足を運んでいただき、充実した稽古会となっています。

また、六年前より久留米市みつま総合体育館にて「三潯旗争奪剣道大会」を毎年二月に開催しています。福岡県はもとより、佐賀県、長崎県、熊本県からも多くの小・中学生の剣士諸君が集い、日頃の練習の成果を出し合う、活気に満ちた大会となっています。

このように、三潯地域剣道連盟は、少ない会員数ながらも皆で助け合い、試行錯誤しながら活動しています。私自身も会員の皆様に助けられ、充実した活動ができることに、感謝しております。

平成二十七年筑豊連合地区剣道連盟の行事を顧みて

「筑豊三地区合同稽古会」

田川剣道連盟会長 玉江 和明

筑豊連合地区剣道連盟は、嘉飯剣道連盟、直鞍剣道連盟、田川剣道連盟の三地区剣道連盟から成り、二一五名の少数会員で成り立つ小さな連合体です。

昔は日本一を誇る筑豊炭田が存在し、炭鉱剣道が盛んでした。仕事を終えたら炭鉱の道場で汗を流し、一風呂浴びて車座になり、一杯の酒を飲み、剣道談義に花を咲かせ、一日の疲れを労う姿を見かけていました。炭鉱の閉山と社会の変遷により、剣道の稽古も大きく変わり、三地区合同稽古も昭和四〇年代で姿を消しました。

平成二〇年四月、三地区支部長会議（現会長会議）で、直鞍支部長本庄先生、嘉飯支部長吉岡先生、田川支部長香月先生で討議され、昇段審査会終了後、三地区大会終了後の年三回、合同稽古を半世紀ぶりに復活させることが決まりました。その後、平成二二年に新しく直鞍剣道連盟に佐伯先生を迎え、合同稽古も年々盛大になり、活気漲る稽古会になりました。

さらに、月に一回、各地区の稽古日に合わせ合同稽古を各地区で開催するようになり、その結果、一回の合同稽古では三〇名以上の剣士が集まり、汗を流すようになりました。

平成二十七年には、筑豊連合主催の行事を一年間一地域で実施しようということになり、田川剣道連盟が当該地区になり、三地区剣道大会、三地区年齢別剣道選手権大会、筑豊連合伝達講習会、三地区合同稽古会を開催しました。このことはとても前向きな取り組みで、好い結果が得られた感を受けています。標題に書いておられます合同稽古会には、嘉飯直鞍の剣士が多く足を運び、交剣知愛の精神で和気藹々とした稽古がなされ、二十七年の合同稽古会は盛會に暮を閉じることができました。盛會を、素直に喜びたいと思います。

福岡市西区剣道連盟の活動報告

西区剣道連盟

副事務局長 河原 亮輔

福岡市西区剣道連盟は、一九八二年に福岡市の旧西区が早良区・城南区に分割された際に新たに発足した連盟です。現在、富永計久会長、山内正幸相談役、國友秀三理事長の下、正会員八〇名（八段一名・七段二〇名・六段三〇名）で構成されています。平成二十七年の実績は以下の通りです。

杖道通信

平成二八年度上半期の活動報告

杖道部会長 光廣 勝人

四月二〇日、福剣連の武道祭に、杖道部から各種の形に三〇名が参加し、演武しました。

五月二日、京都演武大会に一六名が参加し、一年間の稽古の成果を演武しました。

五月二十九日、博多体育館会議室に於いて、平成二八年度杖道部理事会・総会が開催され、役員改選で、現状のままの体制で執行することになりました。また、現在、県下に杖道の支部が三四あり、三〇〇余名の稽古仲間がいることが確認されました。

七月二日、富永範士、鬼木教士、矢ヶ部教士による伝達講習会を、福岡武道館にて開催しました。伝達講習会の実施に伴い、企画広報係の提案で、「初体験コーナー（ワークショップ）」の広告を西日本新聞に掲載し、募集したところ、福岡市内はもとより、北九州市、京都郡、久留米市から二九名の参加がありました。後日、参加者の中から入会があったとの報告も受け、新入会員の掘り起こしに、一石を投じる企画となりました。

- 一・西区剣道祭の実施
九月二七日（日）、北崎中学校体育館にて、小学生・中学生・高校生・大学一般まで、総勢二〇〇名を超える選手が参加して、各部門に分かれて個人戦を行いました。また、開会式では、夏の全国中学校総合体育大会で女子個人戦の部で優勝を収めた、本連盟所属の妹尾舞香選手（当時玄洋中学校三年）の連盟表彰も行いました。
- 二・稽古会の実施
①毎週水曜日
（於福岡舞鶴高等学校）
小・中学生対象
一八：四五～一九：三〇
高校生・一般対象
一九：四〇～二〇：三〇
②寒稽古（於福岡舞鶴高等学校）
一月一六日（土）・一七日（日）
六：三〇～八：〇〇
西区剣道連盟に所属する小学生から一般まで、約二〇〇名が一堂に会して稽古を行いました。雪が舞う寒い中でも、子どもから大人まで元気に声を出し、体を動かして、会場は熱気に包まれました。
- ③六・七段審査前稽古会 審査前の月曜日・金曜日、本連盟から六・七段審査を受審する会員が集い、國友

- 理事長をはじめとした有志の先生方と、日本剣道形の稽古・地稽古を行いました。
- 三・近年の大会実績
平成二五年度
福岡連合地区対抗剣道大会
壮年の部 優勝
青年の部 優勝
福岡県地域対抗剣道大会 優勝
- 平成二六年度
福岡連合地区対抗剣道大会
青年の部 準優勝
福岡県地域対抗剣道大会 優勝
- 平成二七年度
福岡連合地区対抗剣道大会
壮年の部 準優勝
- 四・これまでと今後の活動について
本連盟は、伝統的に少年剣道の盛んな地域で、青少年の健全育成のために剣道を通して地域社会に貢献できるような活動をしてきた道場が多く、これまでも世界大会や全国大会で活躍する多くの名選手を輩出してまいりました。過去の世界選手権大会などで活躍され、昨年十一月に見事八段に合格された鍋山隆弘先生（現筑波大学剣道部監督）、

二〇一五年世界剣道選手権大会の女子団体・個人で優勝し、二〇一六年全日本女子剣道選手権大会で優勝した松本弥月選手（現神奈川県警察）、二〇一四年全日本剣道選手権で準優勝した國友諫太郎選手（福岡県警察所属）などです。

また、次代を担う選手たちも育ってきています。平成二六年度全国中学校剣道大会女子個人の部で優勝した井手璃々華選手、平成二七年度全国中学校剣道大会女子個人の部で優勝した妹尾舞香選手、平成二八年度全国中学校剣道大会男子団体の部で優勝した玄洋中学校剣道部の選手、女子個人の部で三位入賞した前原西中学校の笠日向子選手などです。

また、今年の四月より、新たに福岡市西区剣道連盟のホームページ（<http://nishikukendo.link>）を開設し、会員の皆様や、広く剣道に携わる方々に本連盟の活動を見ていただけるように、情報発信していこうと考えております。

このように、これからも良き伝統を継承していきながら、新たな取り組みを交えて、今後の剣道界のために微力ながら貢献していけるように尽力していく所存です。

来年度は当番地区が直鞍剣道連盟になりますが、今年度達成できなかったことが二点あります。それは、（一）若い剣士（二〇～五〇歳代）の参加者が少なかった。（二）女性剣士の参加者が少なかった。

この二点ですが、これらは、伝達講習会の参加者状況でも言えることだと思います。また、剣道人口の減る中、この二点が達成すれば、底辺拡大にもつながる事項だと思われれます。筑豊連合地区会員相互の協力により、平成二八年度には右の二点の克服を目指して下さい。以上を申し送り、筆を置きます。

八月七日、福岡武道館に於いて、平成二八年度福岡県杖道大会が開催され、一四四名が参加し、日頃の稽古の成果を発揮しました。結果は、次の通りです。



▲県杖道大会での七段教士による演武

平成二八年度福岡県杖道大会結果

	優勝	準優勝	第三位	敢闘賞
少年の部	伊橋美琴	北原直樹	平川翼	北原雄樹
無段の部	馬渡真紀	頼金みな子	林政義	渡部博
初段の部	中島克世志	西山めぐみ	相馬俊平	岸睦子
弐段の部	村瀬志依奈	城崎藤祐	安藤正明	野口博之
参段の部	佐伯達夫	原秀邦	三木くるみ	相蘭恵子
四段の部	磯野美佐緒	渡邊弘美	和泉修二	江藤知徳
五段の部	城台順子	高嶋憲一郎	坂本博美	松尾伸次
六段の部	瀬川洋平	伊橋慶	高嶋由貴	伊橋淳子



▲平成二八年度福岡県杖道大会

八月二六日、山形県天童市スポーツセンター体育館に於いて、全剣連

主催「杖道地区講習会」が開催され、本県からは七名(全国では二八名)が参加しました。

平成二八年度第二五回杖道中央講習会受講報告

杖道教士七段 鬼木 正道
六月四日・五日、千葉県勝浦市の日本武道館研修センターに於いて、杖道中央講習会が開催されました。全剣連副会長松永政美先生、審議員古川瞬也先生、杖道委員長新井洋先生

及び七人の講師での講習でした。福岡県からは神代教士八段が講師として参加され、派遣受講生として、矢ヶ部教士七段と私が参加しました。全体の受講者数は四〇都道府県から七十七名でした。

「主審と副審は同等。審判長、審判主任の役割も理解すること」といったお話がありました。その後、森本教士より、全剣連杖道修正案について、内容の修正はないが「全剣連杖道解説書」の約六〇カ所で表現の明確化・統一化を検討中との説明がありました。

各地区に分かれての形の実技講習では、受講生が交代で号令をかけたがり、形の要点を述べたりして、相互に指導者としての確認を行いました。

居合道通信

平成二八年度上半期の活動報告

居合道 教士八段 小田 信秋
居合道部内の活性化のために、理事の若返りを図り、六月より「総務委員会」、「企画・広報委員会」、「強化・研修委員会」の三委員会を発足させました。各委員会には、それぞれに担当理事を割り当て、理事は何かしらの委員として活動する責任を負うことにしています。

一、総務委員会
会員の管理カードの管理と更新。

審査会・県大会を含む年間行事の遂行と活動状況の確認などの職務。
二、企画広報委員会
読んで字のごとく居合道部の広報と会員拡大のための企画を行う。ネットを使った居合道便りや初心者教室の募集、またポスターやチラシの配布などの職務。
三、強化研修委員会
全日本居合道大会の選手候補選出と強化を主な職務とし、他に県のレベルアップのための講習会・稽古会を計画実施する。

二委員会発足と同時に、先ず企画実施したのが、六月五日にアクシオン福岡で行った講習会です。単に抜いて振るだけの講習会からの脱皮を図り、県大会での団体戦の予行も視野に、県主体の指導者・審判の技量向上を目論んで開催しました。それぞれの委員会のメンバーが、事前検討を何度も重ね、時間から配置までをグラフ化し、詳細に計画して臨みました。

六月二六日には、県の最大イベントである「第四九回福岡県居合道大会」を行いました。当日、早朝より上田会長の列席を得て、一〇歳から八九歳までの剣士が、日頃の修練を發揮せんと、開会式前から熱い闘志を漲らせていました。上田会長の挨拶の中で、「剣道と居合道は、車の両輪のようなもの。会員拡大に尽力されている中で、剣道高段者への刀法等の取り扱いにもご協力いただけていることを、総会でも発表されています。是非、実現させていきたい。」と剣居一体を強調され、頭の下がる思いでした。過去の大会では、無段から七段の部までのトーナメント試合が行われてきましたが、本年から「より参加し易い」「より楽しい」大会にと、

- ①各段別トーナメント試合
- ②中学一年生以下による少年の部リーグ戦
- ③三段以下、三人制による団体戦
- ④各段、個人演武と模範演武

五年前から参加人数が二〇〇名を切り、毎年、一〇名程度の減少傾向にあります。「歯止め」をかけるための起爆剤にならないか、と考えています。目論み通りに、昨年一七〇名強であった参加者が、今回は進行係のみの参加まで入ると、二〇〇名に到達し、殆どの参加者が閉会式まで残ってくれました。閉会式時には、迫野居合道部会長の最後の挨拶で「皆さんにお聞きします。今日の大会は楽しかったですか?」の問い



▲第49回福岡県居合道大会 (詳細は <http://riai.info/> に掲載)

かけにすかさず「楽しかったです。」の大喝に、一同報われた思いがしました。厚く、御礼申し上げます。さて、県の一大イベントであった県大会を成功させて、ホッとする間も無く、それぞれの委員会は、審査会・講習会の準備、全日本選手を選考し大会に向けた本格的な選手強化などに取り組んでいます。会員拡大活動としてのポスター、チラシの作成、インターネットや新聞等の投稿もその一環です。居合道教室の募集

未知志留辺

私と剣道・居合道

田川 剣道連盟 城戸 忠勝



私は今年で九一歳になりますが、

私が剣道・居合道に初めて触れたのは、昭和六〇年頃に私が経営する工場を長男に任せてからです。休んでいると腹が出てきたので、「何か運動をしなければいけない。」と想っていた時に、剣道具を持って体育館へ通う人を見て、「私も剣道をしよう。」と思ったのがきっかけです。

剣道をしておられる方に相談したところ「六〇からの剣道は無理だから、居合をしろ」と勧められて、早速居合の稽古を見に行きました。有段者が真剣で刀を抜く中に色々な作法があることを知り、また、先生の演武から感じる迫力が私の心に響き、その日のうちに入門をお願いし、お許しをいただきました。

居合を実際に始めてみると、見た目ではわからなかった難しさがあることを理解するようになりました。初めは、前に敵が見えないだけに、ただ単に前方を見ているだけでしたが、稽古を重ねていく内に、段々と目付がわかるようになって来ました。

居合道で忘れられない思い出があります。それはまた段位を取得する前ですが、小倉で開催された「北九州居合道大会」の無段・初段の部に出場し、参加者が一〇〇名程度いた中で、最後まで残って準優勝になっ

たことです。それから居合が益々好きになり、日々工場の二階で稽古をするようになりました。また、稽古を重ねていたある日、私の長男を通じて外国人の空手の人たちが英彦山に研修に来るが、その際に居合を見たということ、男性一人、女性一人で演武にいったことがあります。

そこには多くの外国人が訪れていて、また仮設の舞台も用意されていて、圧倒されそうになりましたが、何とか演武をしてきました。今にしてみれば、若気の至りだったようにも感じます。

当初は無理だと言われていた剣道も、居合を始めてから六か月後に始めました。

作法もわからないままに初段を受審し、審査の途中で自分の竹刀が割れていることに気づき、中止要請もせずに場外に飛び出して、勝手に竹刀を交換してしまつたのを覚えています。今にしてみれば、立会や審査員の先生方の高齢者に対するご厚情に感謝するばかりです。

六〇を過ぎてから始めた剣道・居合道ですが、私は元気が旺盛で、両道共に休むことなく稽古して来ました。剣道では、高齢の先生に稽古に行くと、「また右で打っている。」と激しく叱られて、剣を交えても五分

もしないうちに口から荒い息が出て、床に両手をつけて、両肩が上下することもしばしばありました。居合道の方は、有段者になってからは真剣を使用するのですが、親指や親指の近くを切つてしまい、稽古が出来なくなることもありました。それでも、「両道の先達はこの苦しい道

を乗り越えて来た。」、「今私が止めたら人から笑われる。」と思い、稽古を続けてきました。そうしている内に、段々と剣道も居合道も身に付いて、楽しさも増すようになって来ました。他県から、「今から新幹線で帰れば稽古できる。」と、稽古に駆け付けたこともありました。そのような成果か、平成一五年に七八歳で居合道七段に、平成一六年には七九歳で剣道七段に合格することが出来ました。「継続は力なり」を、自分なりに実践できたようにも感じています。

今は膝が悪くなり、居合道の方は道場で若い剣士の稽古を見るだけです。その反面、元気であるがゆえに剣道の稽古が待ち遠しく、周りの皆さんのお手伝いで防具を着用している状態ではありますが、稽古を楽しんでいます。

これから先も、元気で楽しく無理のない稽古をしたいと思っています。

知っておきたい基礎知識
手の食事と栄養
サプリメントについて

久留米大学
健康スポーツ科学センター 木村 香苗
(管理栄養士、食育インストラクター)

この夏、リオデジャネイロ五輪が開催され、わが国の選手たちの活躍には大変盛り上がりましたが、その一方で、開催前に指摘されたロシアのドーピング問題は大会に暗い影を落としてしまったことも記憶に新しいと思います。今回は、摂取の仕方を誤ってしまうとドーピング違反へも繋がってしまうリスクのある「サプリメント」についてお話しします。

スポーツ選手や指導者の方への講習会では、サプリメントに関する質問も多く、サプリメント摂取に対する関心の高さを感じますが、インターネットの普及によって多くの海外製品が個人でも簡単に入手できるようになったため、原材料や成分表示を十分確認することができず、禁止薬物が入っていることに気づかぬまま摂取してしまう危険性も増えていることを知っておかなくてはなりません。

スポーツ選手のサプリメント摂取については、国立レベルのスポーツ研究センターで指針を策定している国も多く、(日本もそのひとつです)、どの国の指針においても、「大きな試合に向けた最後の調整段階や、海外遠征で普段の食事が摂れない場合、病気やケガにより食事が十分に摂取しづらい場合などにはサプリメントで補うことも考えましょう。」とアドバイスされていて、食事以上にサプリメント摂取を積極的に勧められている国はなく、『必要な栄養素は食事から摂る』ことが基本とされています。特に、味覚も成長過程であるジュニアアスリートは、『食べる』ことで五感を刺激し、食べ物

- ① 活動量が高く、食事からだけでは十分に栄養素を補充できない状況にある
- ② 食事に偏りがある(好き嫌い、食物アレルギーなど)
- ③ 合宿・遠征などで食事内容が良くない
- ④ 減量のための食事制限をしている
- ⑤ 内臓が弱っている(消化・吸収能力が低下している)
- ⑥ 食欲がない
- ⑦ 特定の栄養素を摂取しなくてはならない場合

▲表1 サプリメントの利用が考えられる場面

① 知識不足からの過剰摂取を防ぐ

② 体内での栄養バランスを壊さない

③ 不必要な栄養素を過剰に摂取しない

サプリメントは、あくまで食事で不足した栄養素を補うものです。食事の内容と量に応じて、摂取量をコントロールしましょう

また、サプリメントを摂取しても期待される効果が感じられないときや、身体に変化を感じないときは、そのまま摂取し続けるべきかどうかを検討しましょう

▲表2 サプリメントを使う際の注意点

るサプリメントは安心して摂取できますが、成分表示が明確に記載されていないものや、成分表示の欄に「などの文字が記載されている場合(は、禁止薬物が含まれている危険性もあります。また、摂取量(食事では補えない量)はどのくらいか)や期待する効果についても予め知識を身につけておく必要があります。サプリメントに限らず、様々な加工食品を口にすることも多い時代です。市販のお弁当やお菓子などのエネルギー(カロリー)を確認する人は多いと思いますが、それと同じように、原材料や成分表示をきちんと見て、その商品にはどのような成分がどのくらい入っているのかを確認する習慣を身につけると良いですね。

栄養摂取は食事からが基本ですが、サプリメントの利用が考えられる場面を表1に挙げています。①～⑦のいずれかに当てはまる場合は、正しい知識を身につけた上でサプリメントの利用を検討してみても良いでしょう。また、実際にサプリメントを利用する際は、表2の3点に注意しましょう。そして、サプリメントを一定期間摂取しても期待される効果が感じられない場合や、身体に変化を感じないときは、そのまま摂取し続けるべきか再検討しましょう。

※ドーピング物質、禁止薬物やドーピングに関する情報は、財団法人日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のホームページ(<http://www.playtruejapan.org/>)に詳しく記載されています。

また、JADAの審査を経てWADA2016年禁止表(The World Anti-Doping Code THE 2016 PROHIBITED LIST INTERNATIONAL STANDARD)に抵触しないJADA認定商品として承認されている商品の一覧も掲載されています(2016年7月22日現在)。JADA認定商品には、図1のマークがあります。これは、JADA認定商品に対し、ラベル上で貼付用に用いるマークです。JADAの設ける基準をクリアしていることを表し、JADAとしての保証を示しています。青空の下で走る人の絵柄と、ドーピング検査クリアの「OK」を意味する円を組み合わせたマークです。クリーンで、健全なスポーツマン精神を表現しています



編集委員

吉岡、吉谷、浅野、高津、小川、本多

未知志留辺

知っておきたい基礎知識



第六十三回 全日本東西対抗剣道大会

福岡大会開催決定

開催日 平成29年9月10日(日)

場所 福岡市民体育館

男子 六段～範士八段まで東軍・西軍各35名の選手による対抗戦

女子 各年代より選抜された東軍・西軍各5名による対抗戦

**全国から心技体ともに円熟した
精鋭剣士が集う大会です**

開催に向けて、会員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。
当日は、お誘い合わせの上、是非ご観戦下さい。



公益社団法人

福岡県剣道連盟